

# 2021年度事業報告書

2021年6月1日から2022年5月31日まで

特定非営利活動法人Social Change Agency

## 1.事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
ソーシャルワーカーの社会的認知度向上プロジェクト事業	後述	随時	全国	1名	約3600名 1団体	339
ソーシャルワーカーによる学び創出コミュニティプロジェクト事業	後述	随時	全国	8名	約338名	2,996
ソーシャル・リサーチ・プロジェクト事業	本年度は実施せず					
ソーシャルアクション・サポート事業	後述	随時	関東	6名	5団体	8,949

## 2.事業の成果

### (1).ソーシャルワーカーの社会的認知度向上プロジェクト事業

①メールマガジンの配信

1)登録者数

・登録者数総数は3600名超

2)内容

・ソーシャルワークに関する知見の共有や、ソーシャルワーカーという職業の広報に努めた。

### (2).ソーシャルワーカーによる学び創出コミュニティプロジェクト事業

①「Social Change Agency 研修プログラム」第5期目を実施

ソーシャルワーカーのソーシャルアクションを含むマクロソーシャルワーク実践を後押しするために、さまざまな機会(スキル・マインド・ネットワーク)を提供することを目的に2017年度より開始。今期も引き続き、コロナ禍の影響を鑑みて完全オンラインで開催した。

1)参加者数

一般参加者も含め、延べ236名の参加者を得た。

2)成果

実践者ゼミコース参加者の11名の方々が、各々の所属機関における/またはソーシャルワーカーとして自身が課題意識を有している対象に対するアクションプランを作成した。

## ②個人向けサポートプロジェクト

ソーシャルワーカー、対人援助職個人に対して、スーパービジョンやキャリア相談を提供する新規事業を開始した。合計10名の方にサービスを提供した。

## ③オンラインプラットフォームswallow

オンラインでソーシャルワーカーや対人援助職が集るコミュニティ事業を開始、情報共有、交流や研鑽の機会作りを行った。合計92名の方が参加した。

## (3).ソーシャル・リサーチ・プロジェクト事業

本年度は実施せず

## (4).ソーシャルアクション・サポート事業

ソーシャルワークの専門性を必要とする機関を対象に、ソーシャルワークの専門性を各機関に提供、社会に対するソーシャルワークの価値提供に努めた。コンサルティング、ケースワーク、アドバイスの提供など、各機関のニーズに合わせたサポートや協働事業も実施した。詳細は守秘義務誓約のため記載せず。

## (5).ほか

### ①.他大学や職能団体主催の研修等で研修講師や実践報告を実施

本年度も、社会福祉士を目指す専門学校や大学の学生向けの講義や職能団体における研修や講演などに代表理事の横山が登壇し、法人として行う実践の共有に努めた。

### ②.新型コロナウイルスによる社会の変化への対応

国の孤独孤立対策におけるHP企画委員会の委員に代表理事の横山が就任。

以下、制度や相談窓口情報をチャットボットでアナウンスするサイトの構築に関わった。

詳細は以下リンクを参照下さい。

<https://www.notalone-cas.go.jp/>